

# 個人質問

6月定例会市議会では、三十人の議員が、議案や市政全般についての質問を行いました。その中からいくつかを取り上げて、要旨を掲載します。



## 一般・行財政

### 適正価格の契約確保に向け

#### 入札制度を改善

問 平成15年7月の本市入札制度改正における低入札価格調査制度の変更内容は。

答 適正な積算価格での入札参加を目的に、入札価格の内訳書提出を求めるほか、落札の可否を判断する基準を明確化するため、直接的な経費や一般管理費等の数値的調査項目を五項目に増やすなどの改正を行った。これにより、当面著しい低価格での落札に歯止めがかかると考えており、今後、より適正な価格での契約が確保できるよう努めたい。

### まちづくり活動の支援に

#### 新たな補助制度創設を検討

問 おかやま街いきいき活動支援事業が平成15年度末で終了するが、地域住民に継続を望む声が強く、存続させては。



地域の特色を生かした活動を支援

答 地域の意欲が強く、内容的にも評価でき、継続が可能な事業は、活動主体の情報公開などの改善を加えた上で、新たな補助制度を創設し、存続できるよう検討したい。

### パブリックコメント

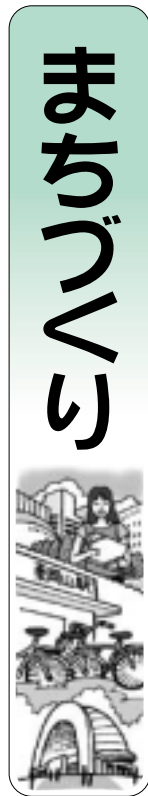
問 パブリックコメントの目的や意義を明確化した指針等を策定し、市民に示しては。

答 必要性を感じており、これまでの実績を踏まえ検討している。現在、実施対象、意見提供者の範囲、募集時期・期間、寄せられた意見の取り扱いなどの枠組みや、制度の法的な位置付けが論点となっており、早急に整理したい。

### 地域に開かれた

#### 隣保館を目指して

問 岡山市新しい隣保館のあ



### デジタルミュージアム

#### 持続可能な運営を

問 岡山市デジタルミュージアム(仮称)の整備に当たり、来館者の活用イメージは、新たな発想で持続可能な運営をして

り方検討専門委員会での検討内容と今後の予定は。

答 地域社会に開かれた魅力あるコミュニティセンターを目指し、住民交流や住民参画の促進、利用者ニーズの反映、管理運営体制等を検討している。平成15年度中に取りまとめを行い、対応可能なものは16年度から実施したい。

### 緑の保存に対する

#### 市の姿勢は

問 緑を大切にす本市の考えに反し、JR大元駅前の推定樹齢百年のタイサンボクを伐採した経緯は。

答 区画整理の過程で交通安全上の問題からやむなく伐採した。今後は、地権者や地元住民に加え、公安委員会等の関係機関とも十分な協議を行い、何よりも緑を大切にす姿勢で事業に取り組みたい。

用等で企業協賛金を得るなど、ビジネス的発想を取り入れるとともに、市民学芸員制度を導入するなど、市民協働で持続的運営に努めたい。

### 撫川・庭瀬城址公園

#### 今後の整備計画

問 撫川・庭瀬城址公園の、今後の整備計画は。

答 平成15年度は、撫川城址公園玄関口にある石橋のバリアフリー化工事を行う。今後、崩壊箇所の復元や休憩施設の整備が必要と考えており、そのための南側へのアクセス道路の整備が急務となっている。現在、約五十メートル区間で地権者の協力が得られており、残りの区間は地域全体の道路計画の中で地元関係者と協議の上進めたい。

### 出石小学校跡地整備事業

#### 15年度優先交渉権者決定へ

問 出石小学校跡地整備事業の、今後のスケジュールは。

答 平成15年6月定例会市議会で関係予算の議決を得た後、実施方針を公表して民間事業者の意見を聞くとともに公募審査委員の募集を行う。15年秋ごろには募集要項を公表して具体的事業の提案を募り、審査委員会の審査を経て、15年度中に優先交渉権者を決定したい。

は。

答 子どもには地域の資料

等に出会える教育の拠点、高齢者にはデジタルで自分史等を作ることができる拠点、さらには観光客や市民でにぎわう文化の空間を想定している。展示室の有効利